

宮崎県における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	669,779,046	163,568,400	833,347,446	81%	市町村の森林整備促進、森林整備の担い手確保、県産材の需要拡大に資する事業に活用
譲与額（円）	830,059,000	200,856,000	1,030,915,000		

■令和6年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	市町村森林整備の支援	62,059,045	53,077,045	森林経営管理制度の推進を支援する「みやざき森林経営管理支援センター」の設置・運営、森林情報のデジタル化と情報の提供等を実施した。
人材育成	人材育成・担い手 対策支援	136,953,489	79,783,861	「みやざき林業大学校」における人材育成及び研修環境の充実、「ひなたのチカラ林業経営者」の登録や指導等を実施した。
木材利用	木材利用・普及啓発	60,835,449	30,707,494	「みやざき木づかい県民会議」を中心とした普及啓発活動や木育の推進、非住宅分野で木造・木質化を推進するためのJAS認証材の普及促進等を実施した。
基金積立		37,287,600	37,287,600	宮崎県森林環境譲与税基金への積立
合計		297,135,583	200,856,000	

■今後の実施計画

①「みやざき林業大学校」での実践的な人材育成

新規就業希望者、デジタル技術やICT等最新技術にも精通した現場技能者等の養成などの人材育成を総合的に実施する。



②木造建築を担う建築士の育成による県産材需要の拡大

新たに設立された「みやざき木の建築推進協議会」の支援を通じて、木造建築を担う建築士「みやざき木造マイスター」を養成し、民間建築物での木造化・木質化の推進を図る。

